

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス
評価対象年度	令和6年度
施設所管課	文化財・博物館課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされ、安全性が確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守について、適切に処理されていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	A	「文学を体験する」ことを重視した事業を実施するなどの工夫が見られた。
	利用状況	B	施設の利用者数及び稼働率が管理目標に達しなかった。
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めていた。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービスの 向上	サービス内容の向上	A	館内3Dビューを導入し、利用者サービスの向上に努めた。
	利用者の満足度	A	施設に対する満足度が、職員対応、衛生環境とも目標に達した。
総合評価		A	適切な管理・運営がなされており、良好である。

特記事項	特に評価すべき点	「文学を体験する」ことを重視し、利用者が、普及事業などを五感で体験できるような工夫をしたところである。また、来館しなくとも、自宅のパソコンから、館のホームページにアクセスして、館内を歩き回る感覚で施設の様子が分かる館内3Dビューを導入し、サービスの向上に努めた。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	一方、施設の利用者数、文学ホール、講座室、研修室の稼働率及び利用料金収入については、管理目標を下回った。令和7年度以降、計画的かつ効果的な広報を実施するなど、利用者数の拡大、利用料金収入の確保に繋げていくことが課題である。